



ALLIANCEBERNSTEIN®

販売用資料
2025年3月

アライアンス・バーンスタイン・ 米国成長株投信

Aコース(為替ヘッジあり)
Bコース(為替ヘッジなし)
Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり)
予想分配金提示型
Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし)
予想分配金提示型

追加型投信／海外／株式

当ファンドの
最新情報は
こちら



「R&Iファンド大賞 2024」
「最優秀ファンド賞」受賞
Bコース(為替ヘッジなし)
(投資信託10年／北米株式グロース部門)



LSEG Lipper
Fund Awards
2024 Winner
Japan

「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2024」
「最優秀ファンド賞」受賞
Bコース(為替ヘッジなし)
(投資信託部門／株式型 米国(評価期間10年))



「ウエルスアドバイザーアワード2024」
「NISA 成長投資枠」WA優秀ファンド賞」受賞
Bコース(為替ヘッジなし)
(国際株式型(特定地域) 部門)

※全てのアワードの詳細は11頁を参照ください。「R&Iファンド大賞 2024」について、2015年から2024年まで10年連続の受賞です。

■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎当ファンドは預金ではなく、三菱UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元金を大きく下回ることがあります。したがって投資元金および運用成果が保証されているものではありません。◎ご購入に際しては、購入時手数料および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

【金融商品仲介口座を通じたご購入について】

・当ファンドは三菱UFJ銀行の投資信託口座のほか金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じたお取扱いをしております。・金融商品仲介口座を通じたご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

投資信託口座を通じたお取扱いの場合

お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合

お問合せ・ご照会先



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は アライアンス・バーンスタイン

アライアンス・バーンスタイン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

成長を続ける世界最大

拡大する人口、多様化するライフスタイル、イノベーションにより米国は成長を続け、世界経済をけん引しています。



当ファンドは、外部環境
長期にわたる
卓越

過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

上記の「世界最大の先進国」はGDPベースによるものです。

※画像はイメージです。

* 期間：1900年1月末～2024年12月末。月次ベース。S&P 500株価指数(配当金込み)のデータ。

** 「それまでの高値を十分に下回った時」とはその時点における最高値からの下落率が5%以上の月、「それまでの高値圏にあった時」とはその時点における最高値
出 所：ブルームバーグ、アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」。アライアンス・バーンスタイン・エルピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーン

の先進国「米国」

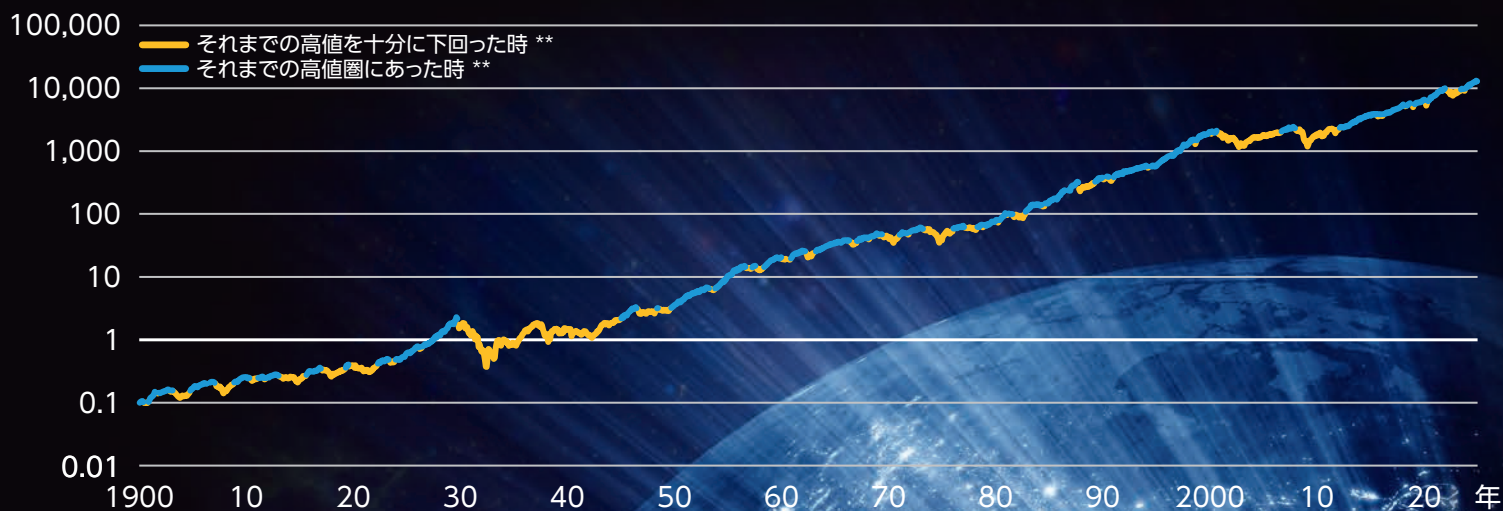


み出される新たな産業。

100年超の歴史において約半分の期間は高値付近の水準。
その最高圏をも凌駕し、上昇を続けてきた魅力ある株式市場。
そしてこれからも。

史上最高値を更新し続けてきた米国株式市場

S&P 500株価指数の推移(対数グラフ)*



境に左右されにくく、
って安定成長できる
したビジネスに投資



世界をリードする“米国”への投資

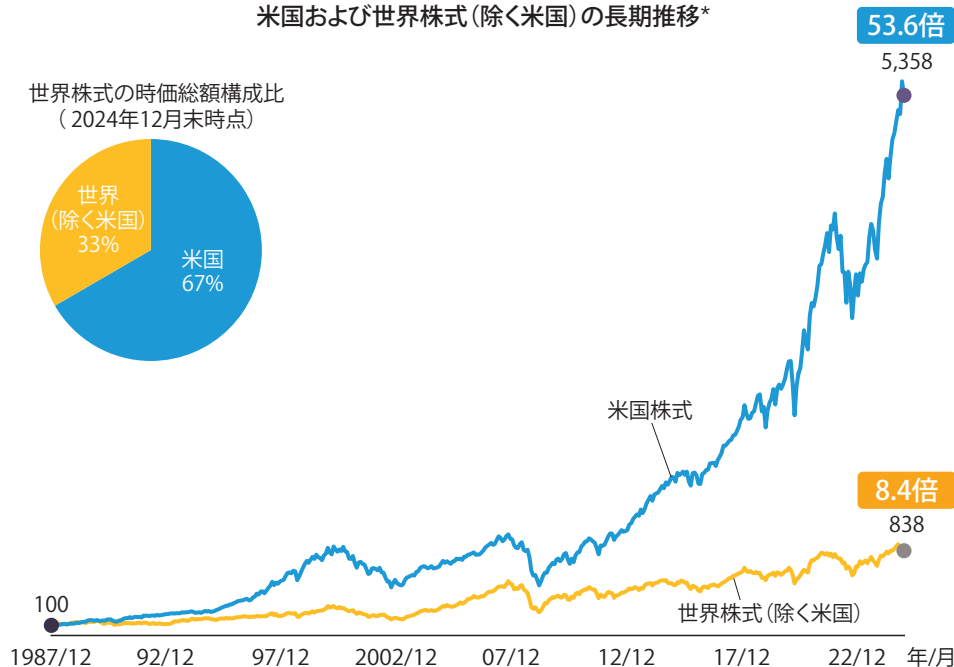
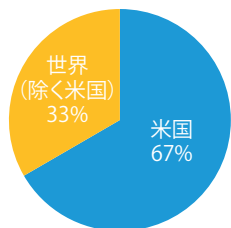
中長期の投資先のコアとして

- 長期的に、米国株式は世界株式をけん引してきました。米国株式の市場規模は、世界の過半を占める世界最大の株式市場です。

- 米国の生産年齢人口は今後も緩やかに減少し、ベンチャーキャピタル投資額は他国を大きく上回る。リスクマネーの供給も

過去30年超、株式市場をけん引してきた米国株式

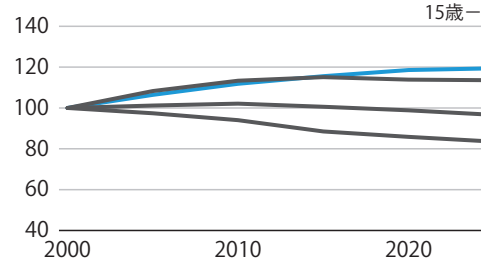
米国および世界株式(除く米国)の長期推移*

世界株式の時価総額構成比
(2024年12月末時点)

* 期間:1987年12月ー2024年12月。1987年12月を100として指数化。米国株式:MSCI 米国指数(配当込み)。世界株式(除く米国):MSCI オールカントリーワールド指数(除く米国) 配当込み。2025年以降のデータは予想値です。*** 2024年実績。† 期間:1995年6月末ー2024年12月末。四半期ベース。米ドルベース。†† 期間:1995年ー2027年。年次ベース。S&P 500株価指数の出所:MSCI、国際連合統計局、Dealroom.co、Statista、ファクトセット、ブルームバーグ、AB

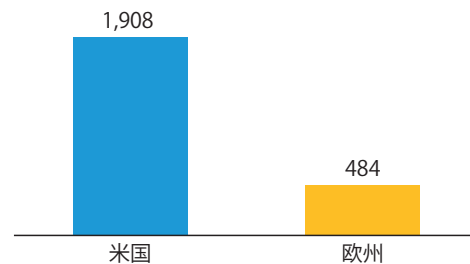
労働人口の緩やかな

主要国・地域の生産年齢人口



投資が育むイ

主要国・地域のベンチャー投資額



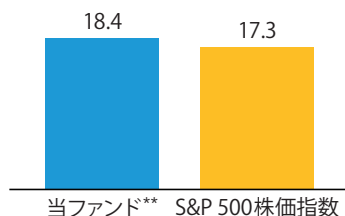
“持続的な成長企業”への厳選投資

“持続的な成長企業”への投資

- 当ファンドでは、徹底的なリサーチに基づき、「持続的な成長企業」を厳選し、ポートフォリオを構築します。
- 当ファンドにおける「持続的な成長企業」とは、「利益を将来のために再投資し、外部環境に左右されにくく、長期にわたって持つ企業」であり、主に以下の3つの視点から分析します。
- 分析にあたっては、ESG(環境、社会、ガバナンス)など非財務情報も考慮します。

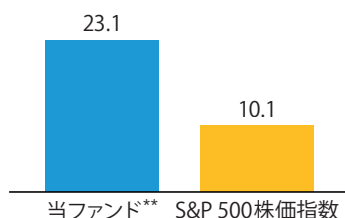
○収益性

総資産利益率(ROA*)(%)



○投資の効率性

投下資本利益率(ROIC***) (%)



高い収益性の持続力

優秀な経営陣が、独自のビジネスモデルで高い参入障壁を築き、支配的な市場シェアで高い収益性を持続できる企業

持続的な成長企業

高い投資効率

投下資本に対し、より効率的に利益を創出できる企業

強固な財務体質

資本市場の影響を受けにくい強固な財務体質を持つ企業



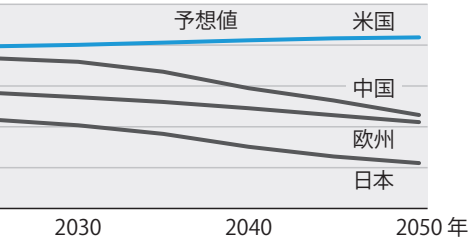
魅力的な米国市場

やかに増加していく見込みです。また、の国・地域を圧倒するなど、イノベーションが豊富です。

- 株価と企業の1株当たり利益 (EPS) は中長期的に連動する傾向があります。
- 米国株式市場は長期にわたり上昇してきましたが、これは企業利益の長期的な拡大に裏付けられたものです。今後も企業利益は拡大すると予想されています。

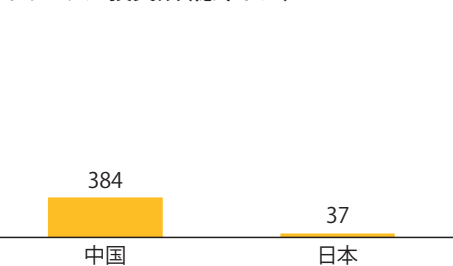
増加が予想される

年齢人口の推移**
64歳



イノベーション

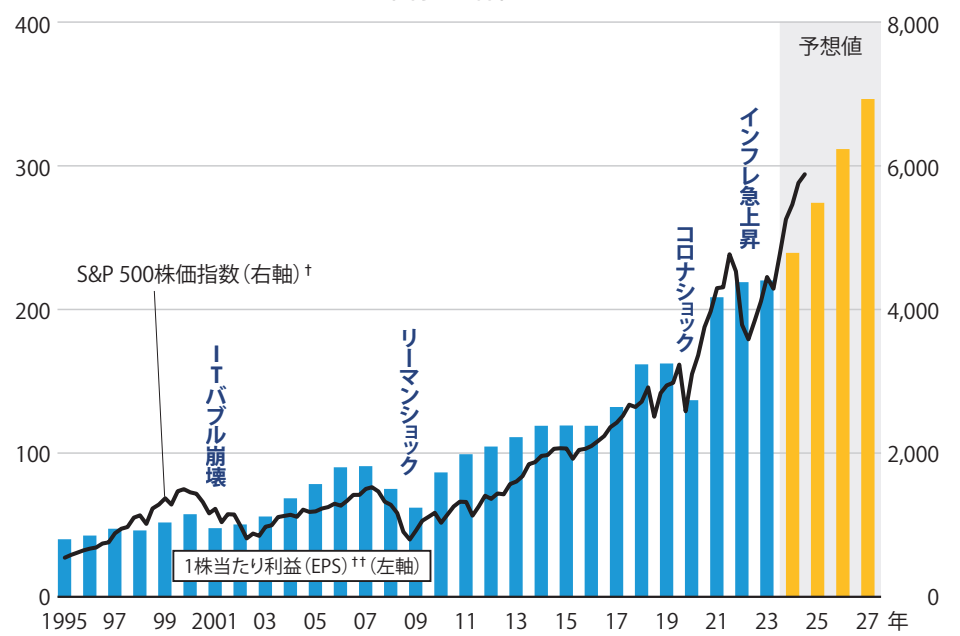
キャピタル投資額 (億米ドル) ***



米ドルベース。月次ベース。 ** 期間: 2000年-2050年。2000年を100として指数化。国際連合統計局のWorld Population Prospects (2024年) のデータに基づきます。データは5年間隔です。1株当たり利益 (EPS)。2024年以降のEPSは2025年1月9日現在のファクトセット・コンセンサス予想 (指数)。

企業の利益成長が株価上昇の原動力

企業利益と株価トレンド



は長期的に大きなリターン格差を生んできた

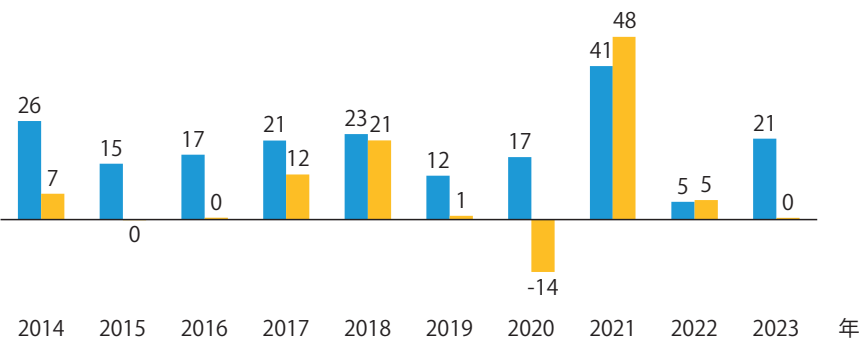
で安定成長できる卓越したビジネスを

- 「持続的な成長企業」から構成されたポートフォリオの利益成長率は、おおむね米国市場全体を上回る傾向にあります。
- 利益成長の格差は、長期にわたり累積的に拡大し、株価リターンの格差につながっていくとみられます。

「持続的な成長企業」は総じて大きな利益成長を遂げてきた

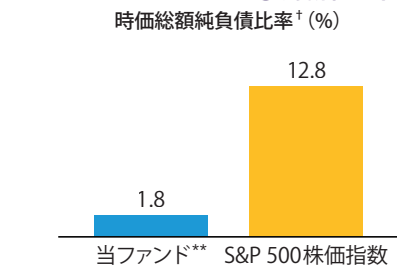
マザーファンドの1株当たり利益 (EPS) 成長率 (%) ††

■ マザーファンド ■ 米国株式



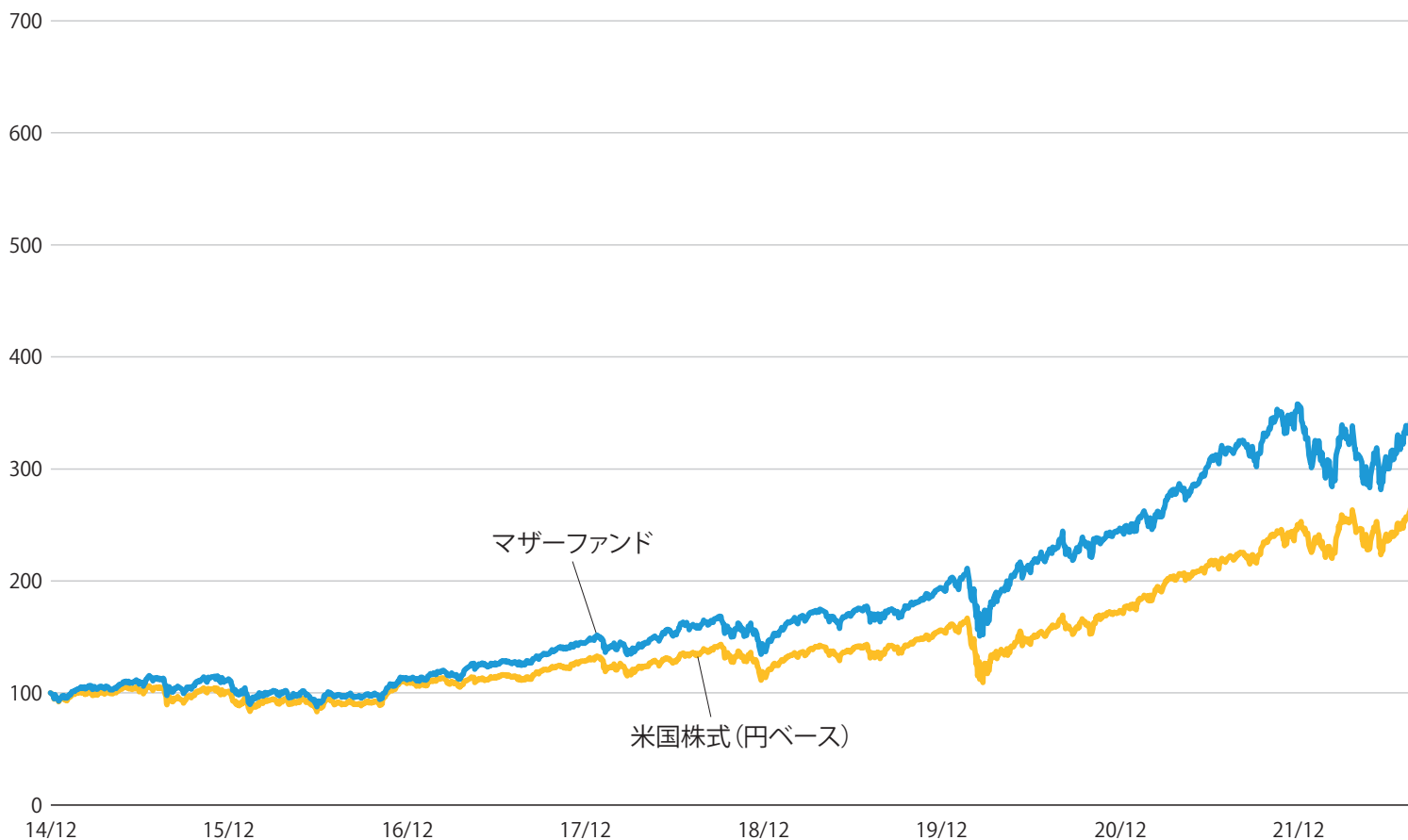
「収益性」、「投資の効率性」、「財務健全性」の各データは2024年12月末現在。 * 当期純利益÷総資産で算出される。企業全体の資産を使って利益を効率的に創出できているかを表す指標。 ** マザーファンドのデータに基づきます。マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。キャッシュは除きます。 *** (営業利益×(1-実効税率))÷(株主資本+有利子負債)で算出される。企業がビジネスに投じた資金を使ってどれだけの利益を生み出したかを示す指標。 † (有利子負債-現金等)÷時価総額で算出される。一般的には、企業の健全性を計る指標で、数値が低いほどより健全とみなされます。 †† 期間: 2014年-2023年。マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。米国株式はS&P 500株価指数。マザーファンドの組入銘柄のEPS成長率 (赤字企業を除く) を加重平均したもの。 出所: ファクトセット、AB

財務健全性



●「持続的な成長企業」への厳選投資を追求してきた結果、長期的に米国株式市場を大きく上回る実績をあげて

過去10年間のマザーファンドのパフォーマンス*



過去の一定期間の実績は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。各コースのパフォーマンスは、分配金（課税前）再投資の基準価額を用いて計算しています。基準価額は運手手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

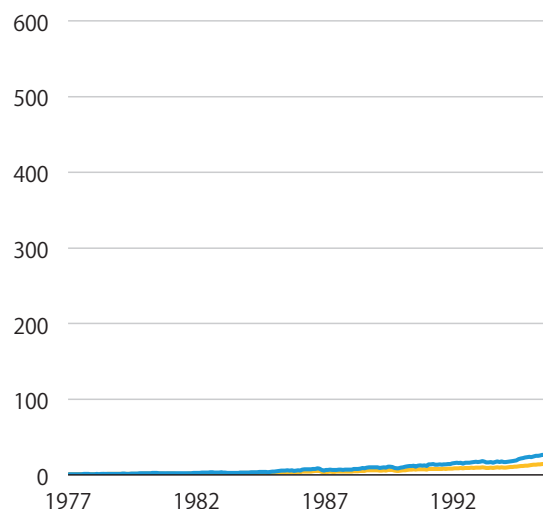
* マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。マザーファンドに信託報酬はかかりません。米国株式はS&P 500株価指数（配当込み）。期間：出所：ブルームバーグ、AB

40年超の歴史を持つ運用戦略

(ご参考) 当ファンドの運用戦略の長期パフォーマンス

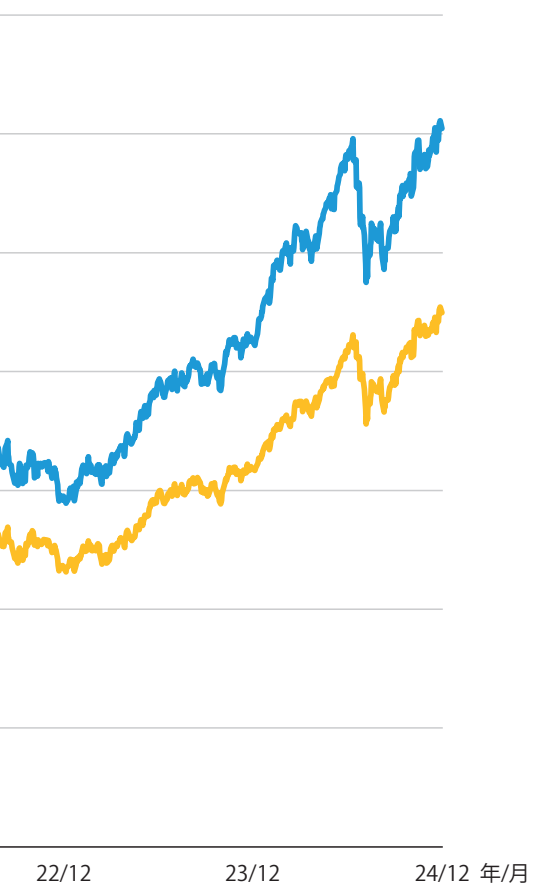
- 当ファンドの運用戦略（米国大型成長株戦略）は、1977年に運用を開始し、40年超の実績を誇るアライアンス・バーンスタインを代表する運用戦略です。
- 現運用体制による運用を開始した2012年4月以降において、『米国大型株式』カテゴリーの中でも優れた運用実績を誇っています。

当ファンドの運用戦略のコンポジットのリターン（費用控除前）を示したものであり、当ファンドの実績ではありません。



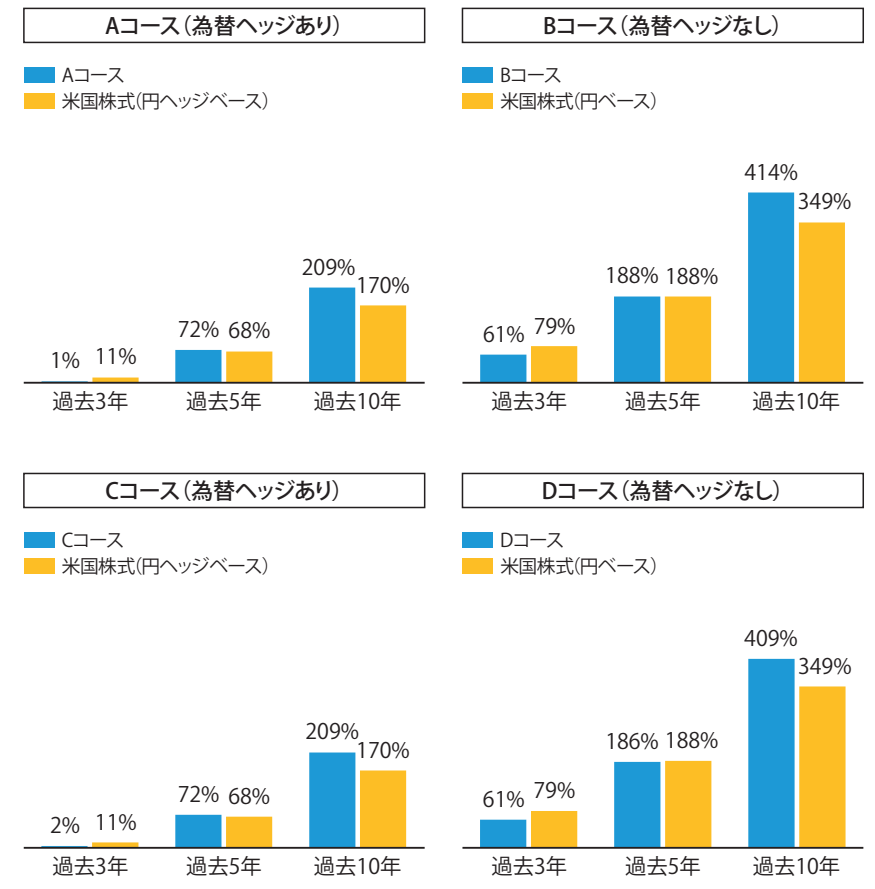
過去の実績は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。 ※コンポジットとは、類似の投資戦略、投資方針に基づいて運用される1つ以上のファンドの運用実績を、一定基費用等控除前。米ドルベース。米国株式はS&P 500株価指数（配当込み）。 ** 2012年4月（現運用体制開始）ー2024年9月末。eVestmentの「米国大型株式」カテゴリーにおいて2012年4出所：eVestment、ブルームバーグ、AB

きました。

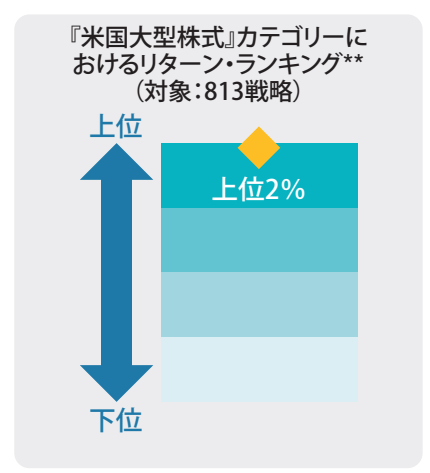
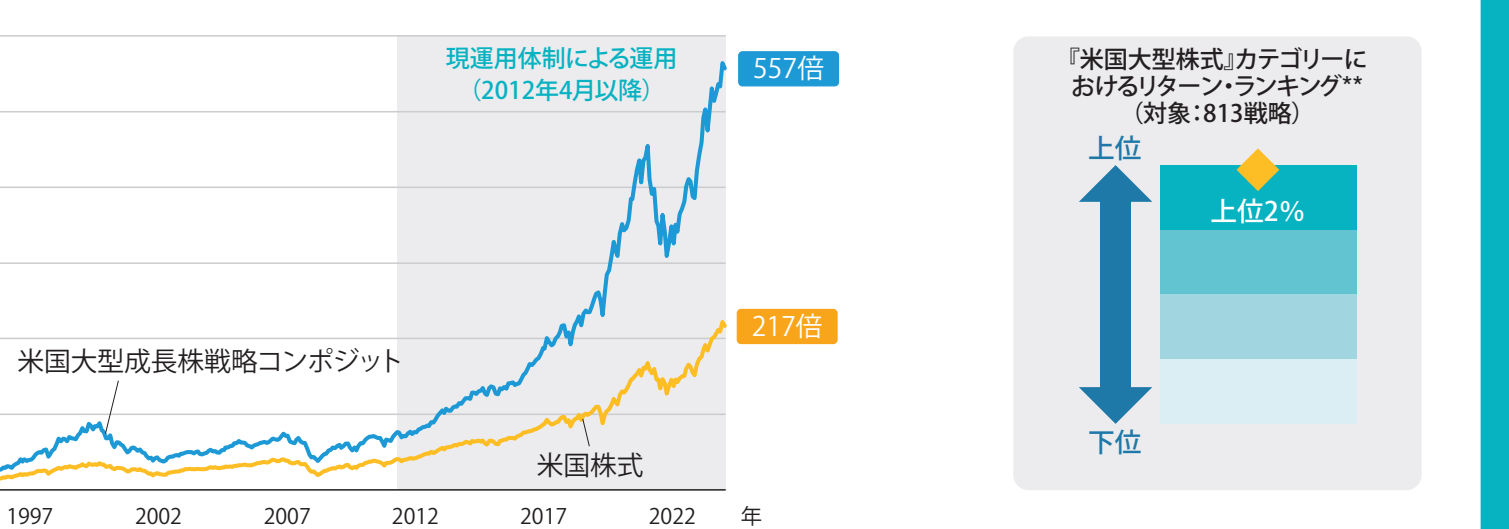


用管理費用（信託報酬）控除後のものです。基準価額（分配金（課税前）再投資）とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスです。税金、2014年12月末－2024年12月末。2014年12月末を100として指数化。 ** 2024年12月末時点。米国株式はS&P 500株価指数（配当込み）。

各コースのパフォーマンス**



（コンポジット※ / 費用等控除前/米ドルベース）*



準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。 * 期間：1977年12月末－2024年12月末。月次ベース。1977年12月末を1として指数化。月から運用実績のある813戦略のデータに基づきABが算出。

“持続的な成長企業”の投資事例

モンスター・ビバレッジ(生活必需品)

＜投資テーマ＞
米国およびグローバル市場において、エナジー・ドリンクの消費増加による売上の拡大が期待できる。また、新商品開発にも積極的で、ボディ・トレーニング向けやゼロシュガーなど商品カテゴリーを拡充し、新規市場を開拓している

時価総額:8.1兆円*



＜企業概要＞
エナジー・ドリンク業界のリーディング・カンパニーのひとつ
世界でエナジー・ドリンクを販売する。基本的に広告や値下げを行わず、モータースポーツやアクションスポーツ等のサポートを通じて宣伝、ブランドイメージを高める戦略を取る

過去の分析は将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、成長株式の参考例として説明したもので個別銘柄の産業は、Global Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。
※画像はイメージです。
* 時価総額は2024年12月末時点。1米ドル=158.18円(2024年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値)で換算しています。
出所:企業ホームページ、ブルームバーグ、AB

VISA(金融)

＜投資テーマ＞
現金・小切手決済からカード・電子決済への移行や、オンライン取引による電子決済の増加による構造的な恩恵を受けやすい。参入障壁が高く寡占的な国際ブランドの中でも最大手の地位を維持している

時価総額:100.8兆円*



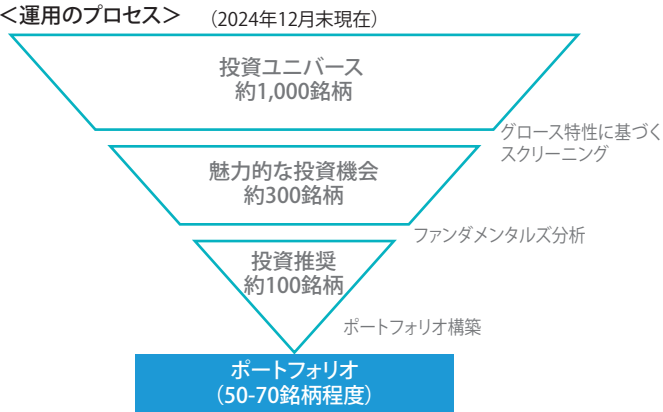
＜企業概要＞
クレジットカード決済サービス世界最大手
国際的ブランド「VISAカード」を運営。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード発行や与信提供はせず、小売店などにおける取引高に比例する決済手数料と、カード発行会社等からのライセンス収入が主な収益源

ファンドの特色

1. マザーファンド*を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式に投資します。

* マザーファンドは、アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドです。
※委託会社が適切と判断した場合には、米国以外の発行者による米国預託証券(ADR)、優先証券などに投資することがあります。

2. 企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としたアクティブ運用を行います。



- 高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業を発掘します。
- 株価の値上がり期待できる企業を選別するため、「AB」のリサーチ・アナリストとポートフォリオ・マネジャーがボトムアップによるファンダメンタルズ分析を行います。
- グロース特性に基づきスクリーニングされた銘柄(約300銘柄)について、アナリストによる綿密なファンダメンタルズ・リサーチを参考に、ABの米国大型株運用チームは投資推奨銘柄(約100銘柄)に絞り込みます。ファンダメンタルズ・リサーチにおいては、財務分析だけでなく、ESG(環境、社会、ガバナンス)など非財務分析も考慮に入れ、多面的な企業分析により持続的な成長企業を選別します。
- 運用チームは、最終的にファンダメンタルズ分析の確信度やリスク特性などを考慮し、有望と判断される銘柄を選定します。

※上記の内容は、今後変更する場合があります。

3. 決算頻度や為替ヘッジの有無の異なるファンドからお選びいただけます。

コース	為替ヘッジ	決算頻度
Aコース(為替ヘッジあり)	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。	年2回
Bコース(為替ヘッジなし)	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	年2回
Cコース(為替ヘッジあり)	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。	毎月(年12回)
Dコース(為替ヘッジなし)	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	毎月(年12回)

4. マザーファンド、AコースおよびCコースの運用の一部は、ABのグループ会社に委託します。

- 運用指図に関する権限委託: マザーファンドの株式等の運用、AコースおよびCコースの為替ヘッジ
※国内余剰資金の運用の指図に関する権限を除きます。
- 委託先(投資顧問会社): アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー/アライアンス・バーンスタイン・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド/アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド

5. S&P 500株価指数(配当金込み)*をベンチマークとします。

- AコースおよびCコース: S&P 500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)*
 - BコースおよびDコース: S&P 500株価指数(配当金込み、円ベース)*
- * S&P 500株価指数とは、米国の投資情報会社であるS&Pが算出、公表している株価指数で、米国の主要500銘柄を時価総額で加重平均し算出したものです。S&P 500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)は、S&P 500株価指数(配当金込み、米ドルベース)をもとに、為替ヘッジにかかる費用相当分を考慮して委託会社が円ヘッジベースに換算したものです。S&P 500株価指数(配当金込み、円ベース)は、S&P 500株価指数(配当金込み、米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
※投資対象国の株式市場の構造変化等によっては、ファンドのベンチマークを見直す場合があります。

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合やありません。※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を収益分配金に関する留意事項については、10頁をご覧ください。

コストコ・ホールセール(生活必需品)

<投資テーマ>

低コスト運営のディスカウント小売として高い価格競争力を維持し、会員数は安定的に拡大。物流を強化しオンライン事業も成長。長期的な売上成長が期待されるとともに、会員費収入が支える収益性の高いビジネスモデルを評価



時価総額: 64.3兆円*

<企業概要>

会員制大型量販店をグローバル展開する米国の小売大手
会員制倉庫型店舗という特徴的なビジネスモデルで、食品、飲料、家電から衣料、医薬品、有名ブランドなど幅広い商品を取り扱う。またプライベートブランド製品の開発と販売にも注力しており、訴求力のある商品を低価格で提供

ゾエティス(ヘルスケア)

<投資テーマ>

動物用医薬品市場は、世界のペットケアや新興国の畜産物需要の増加で高成長を期待。加えて、ジェネリック医薬品の脅威が少なく、かつ研究開発リスクも低いことから、安定的な収益拡大が見込まれる



時価総額: 11.6兆円*

<企業概要>

世界最大の動物用医薬品メーカー

2013年にファイザーから分離・独立し、家畜およびペット用の医薬品やワクチンの開発・製造・販売を手掛けている。世界約100カ国以上で事業を展開

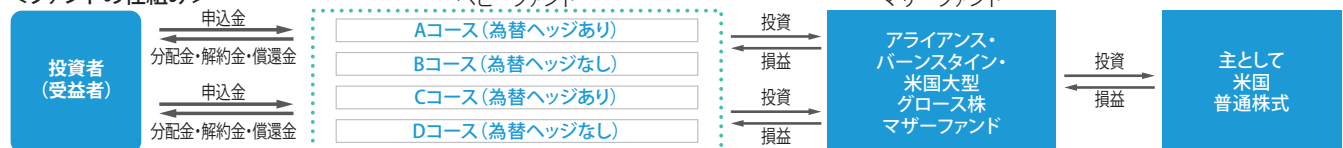
あり、ファンドに組入れられる銘柄を示唆するものではありません。ABがこれらの銘柄を推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

資金動向、市況動向等によっては下記のような運用ができない場合があります。

6. ファミリーファンド方式で運用を行います。

- ファミリーファンド方式とは、受益者の資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資することにより、実質的な運用はマザーファンドにて行うという仕組みです。

<ファンドの仕組み>



*スイッチングのお取扱いに関しては、販売会社へお問い合わせください。

7. (AコースおよびBコースの場合)

年2回決算を行い(毎年6月15日および12月15日。休業日の場合は翌営業日)、分配方針に基づき分配します。

(CコースおよびDコースの場合)

毎月決算を行い(毎月15日。休業日の場合は翌営業日)、毎計算期末の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。



CコースおよびDコースは…「予想分配金提示型」というスタイルの毎月分配型ファンドです。

Point 1 基準価額に応じて支払われる分配金の水準を提示

あらかじめ目標となる分配金額が、基準価額的水準に応じて提示されているので、お客様にとってお受け取りいただく分配金額が分かりやすい仕組みです。

<分配方針>

CコースおよびDコースは、原則として、毎決算時(毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき分配します。

①計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

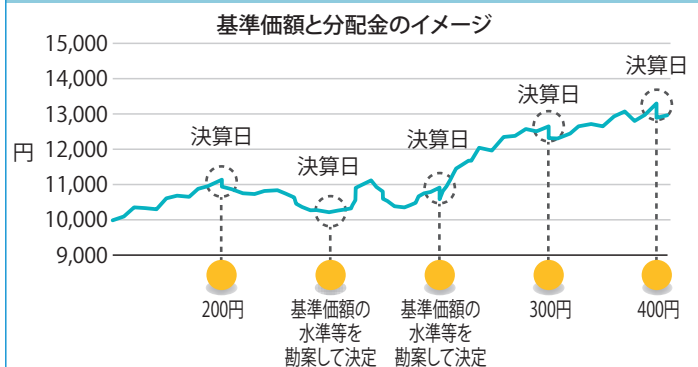
毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口あたり、税引前)
11,000円未満	基準価額的水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

②分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

③分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金のお支払および金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

Point 2 基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金が増加

基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金額が増加します。分配金水準をあらかじめ提示しているため、受取額を見積ることができます。



*上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありません。

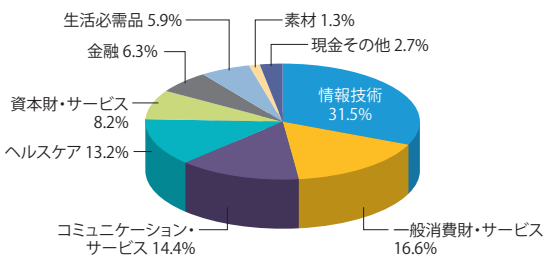
分配金が支払われない場合があります。※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。※Aコース、Bコース、CコースおよびDコースの分配方針の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ポートフォリオの内容および分配実績

マザーファンドの組入上位10銘柄(全51銘柄)*

	銘柄名	セクター	組入比率
1	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	7.7%
2	マイクロソフト	情報技術	7.5%
3	エヌビディア	情報技術	6.3%
4	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	5.6%
5	VISA	金融	4.8%
6	アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.6%
7	ネットフリックス	コミュニケーション・サービス	3.8%
8	ブロードコム	情報技術	3.7%
9	コストコ・ホールセール	生活必需品	3.2%
10	ホーム・デポ	一般消費財・サービス	2.7%

マザーファンドのセクター別配分*



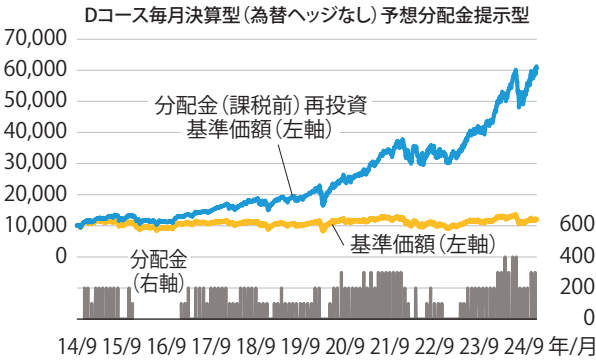
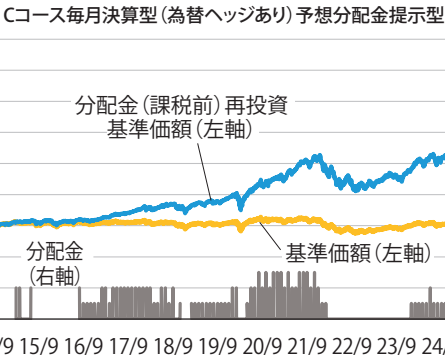
分配実績(1万口あたり、課税前)**

	設定来計
Aコース(為替ヘッジあり)	3,690円
Bコース(為替ヘッジなし)	4,450円
Cコース(為替ヘッジあり)	12,900円
Dコース(為替ヘッジなし)	18,600円

予想分配金提示型のこれまでの分配実績

基準価額の水準に応じて分配金をお支払いしてきました。

Cコース(為替ヘッジあり)/Dコース(為替ヘッジなし) 基準価額、分配金および分配金(課税前)再投資基準価額の推移(1万口あたり、円)***
2014年9月16日(設定日)ー2024年12月30日



過去の実績は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。
2024年12月30日現在。

* マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド」。セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。小数点第2位を四捨五入しています。同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。上記銘柄は、当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得のお申込みの勧誘を行うものではありません。上記組入比率およびセクター別配分は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

** 運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。Aコース、Bコースの設定日は2006年5月25日、Cコース、Dコースの設定日は2014年9月16日。

*** 基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金(課税前)再投資基準価額とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したものです。税金、手数料等は考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

出所: AB

当資料のご利用にあたっての留意事項

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組み入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

当ファンドの主なリスク

当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

Aコース（為替ヘッジあり）／Cコース（為替ヘッジあり）

実質外貨建資産について為替予約取引などを用いて為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替相場の影響を受ける場合があります。また、対象通貨国と日本の金利差によっては、ヘッジ・コストが収益力を低下させる可能性があります。

Bコース（為替ヘッジなし）／Dコース（為替ヘッジなし）

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。

また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額変動のリスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社（以下、「当社」といいます。）が作成した販売用資料です。
- 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に記載された意見・見通しは作成時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。

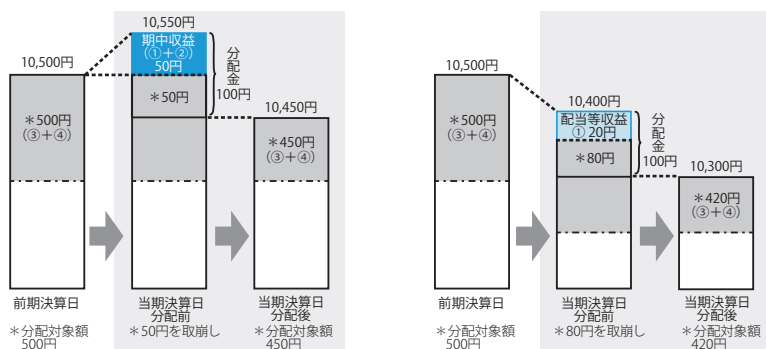
収益分配金に関する留意事項

ファンドで分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合
前期決算日から基準価額が上昇した場合
前期決算日から基準価額が下落した場合



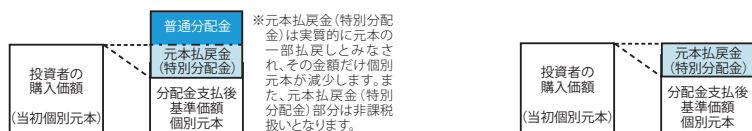
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

※左記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

信託期間

Aコース／Bコース:2044年6月15日まで(信託設定日:2006年5月25日)
Cコース／Dコース:2044年6月15日まで(信託設定日:2014年9月16日)

決算および配

Aコース／Bコース:原則、6月15日および12月15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
Cコース／Dコース:原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
※収益分配金は税引後再投資されます。分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。

購入および換金

ニューヨーク証券取引所の休業日には、購入および換金のお申込みはできません。
申込締切時間 原則、購入・換金のお申込みにかかる、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入単位 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位
購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。再投資される分配金については、1円単位とします。
Aコース／Bコース 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):
1万円以上1円単位*
金融商品仲介口座(投信積立):1万円以上1千円単位
Cコース／Dコース 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):
1万円以上1円単位*
*上記以外の購入単位でのお取扱いもございます。くわしくは三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金 販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位 投資信託口座:1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。
金融商品仲介口座:1口以上1口単位、または全部。
換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金 原則、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
換金制限 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。

スイッチング

各ファンド間でのスイッチングが可能です。ただし、インターネット取引を除きます。手数料等は、「お客様にご負担いただく費用」をご参照ください。

繰上償還

AコースとBコース、あるいはCコースとDコースの受益権口数の合計が30億口を下回ったとき、信託を終了(繰上償還)する場合があります。

課税関係

個人の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングによる換金を含みます。)および償還時の譲渡益に対して課税されます。課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。AコースおよびBコースは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。CコースおよびDコースは、NISAの対象ではありません。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。税法が改正された場合等には、内容が変更になる場合があります。

お客様にご負担いただく費用

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料 購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、3.3%(税抜3.0%)を乗じて得た額とします。
■スイッチングの場合、手数料はかかりません。
※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇(投信つみたて(継続購入プラン)・投信積立を除く)。
Aコース／Bコース 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):
つみたて回数に応じて2.9700%(税込)から段階的に優遇**
金融商品仲介口座(投信積立):3.3%(税込)から30%優遇
Cコース／Dコース 投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン)):
つみたて回数に応じて2.9700%(税込)から段階的に優遇**
**くわしくは三菱UFJ銀行ホームページをご覧ください。

信託財産留保額 ありません。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対して年1.727%(税抜年1.57%)の率を乗じて得た額とします。
※Aコース／Cコースおよびマザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。
※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。
その他の費用・手数料 ●金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税・信託事務の処理に要する諸費用等
※お客様の保有期間中その都度がかかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。
●監査費用／法定書類関係費用／受益権の管理事務に係る費用等
※純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの主な関係法人

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)
アライアンス・バーンスタイン株式会社 www.alliancebernstein.co.jp
- 投資顧問会社(マザーファンド、AコースおよびCコースの運用の一部の委託先)
アライアンス・バーンスタイン・エル・ビー
アライアンス・バーンスタイン・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド
- 受託会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社:
[投資信託口座を通じたお取扱いの場合] 株式会社三菱UFJ銀行
[金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合]
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関:株式会社三菱UFJ銀行)

ABのご紹介

- ABは米国を本拠とし、世界27の国・地域に拠点を有する世界有数の資産運用会社です。
- 豊富な経験と専門性で、お客様の多様化するニーズに対応、世界の機関投資家、富裕層、個人投資家に質の高い運用サービスを提供しています。
- 日本においては、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社の1つとして、30年以上の実績があります。

■当ファンドの運用体制について

当ファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームが行います。

	メンバー 13 名	ポートフォリオ・マネジメント:3名 ファンダメンタル・リサーチ:7名 ファンクショナル・リサーチ:3名
	平均経験年数 19 年	 拠点 ニューヨーク

	チーム全体の運用残高 計14.9兆円	
	主な投資戦略と運用残高	米国大型成長株戦略:13.3兆円 米国レバティフ・バリュー戦略:0.5兆円 その他:1.0兆円

ABは責任投資にコミットします



【FUTURE OF ESG】
Investing for a Sustainable Future

- ABでは、運用資産の大半*で、非財務情報であるESG(環境、社会、ガバナンス)問題に対する取り組みをリサーチおよび運用プロセスに全面的に取り入れています。
- ABのアナリストは企業の経営陣と定期的に対話を行い、資本政策から情報開示まで様々な問題への取り組みを評価し、更なる改善を促しています。

(ABはESGの理解促進を目指し、シンボルマークを作成しました)

※2024年9月末現在。運用資産総額と運用残高は1兆143.04円(2024年9月末現在のWMリフィニティブ)で換算。*アクティブ運用戦略の運用資産額の約80%。出所:AB

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

「LSEG リッパー・ファンド・アワード」は毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては「Lipper Leader Rating(リッパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザー・アワード2024「NISA 成長投資枠」WA優秀ファンド賞は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2024年12月30日における「NISA成長投資枠登録のアクティブファンド」を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。国際株式型(特定地域)部門は、選考対象ファンドのうち、同年12月末において当該部門に属するファンド277本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)
1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国Morningstar, Inc.へブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。